

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

安心・安全で最も便利な銀行を目指し、ゼロキャッシュ時代の到来を見据えたFinTechのリーディングカンパニーを実現

口座数
16.8百万口座

預金量
11.4兆円

連結経常収益
184,534百万円

連結経常利益
71,524百万円

② 中長期の経営戦略

1. 個人ビジネス戦略

生活口座として利用される銀行、テクノロジーを活用した安心・安全で便利な銀行を目指す

3. 楽天エコシステム活用

グループ内の顧客相互送客やポイント・サービス連携で新規顧客を効率的に獲得し成長を実現

2. 法人ビジネス戦略

テクノロジーで融資・預金・為替を顧客ニーズに合わせて提供。全規模の取引先に利便性を提供する銀行

4. 低コスト運営と還元

インターネット活用と革新的アイデアで低コスト化。削減分をポイント・キャッシュバックで顧客還元

③ 対処すべき課題

① 生活口座化の推進

- ・給与振込・口座振替獲得で預金・為替を拡大し顧客あたり取引額を向上
- ・便利でお得なサービス開発に注力。2025年3月末時点メイン口座率は32.7%

② 収益基盤の強化

- ・ローン商品の多様化で個人顧客の資金需要に対応し利息収益を拡大
- ・法人融資の増加と証券化資産投資の拡大で新たな利息収益を確保

③ FinTech領域の成長取込み

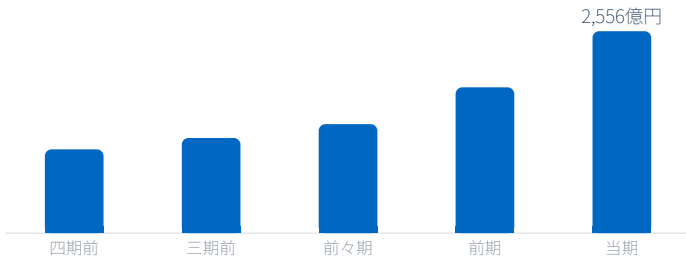
- ・楽天ペイメント連携で個人口座メイン化と法人口座獲得を推進
- ・データとAI活用で審査・マーケティング精度向上。BaaS連携で新規ビジネス創出

面接で使えるポイント

- ・2024年7月に1,600万口座を突破。20年以上インターネット金融の先駆者として事業展開
- ・楽天エコシステムとの連携で、ポイント・顧客相互送客等の低コスト顧客獲得を実現
- ・メイン口座率32.7%。生活口座化を通じて顧客当たり取引機会と収益の拡大を推進

証券コード 5838

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
2,556億円営業利益率
－（未開示）財務健康度
34点 / 100点

要するに

楽天グループが49.26%出資するインターネット銀行

主力事業・セグメント

・銀行業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高2,556億円の事業規模
- ・将来性評価は晴れ
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 晴れ / 就活偏差値 51.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
707万円

銀行業内 47位/78社

平均年齢
37.4歳

銀行業内 78位/78社

平均勤続
5.5年

銀行業内 78位/78社

女性管理職
17.1%

銀行業内 27位/57社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 楽天銀行、「25周年記念口座開設キャンペーン」を実施

